

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	特別養護老人ホーム 愛寿園	定員	50名
設置・運営(法人名)	社会福祉法人 愛寿会	開設	昭和53年4月1日
所在地	〒651-1512 神戸市北区長尾町上津4663-5	TEL	078-986-1612
交通アクセス	JR・神戸電鉄三田駅より有馬高原病院が運行している無料バスで約25分	URL	http://aiuen.or.jp/

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業			
介護老人福祉施設			
2 介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)			
●介護・看護職員1名に対する入所者	2.5	名	
●介護・看護職員平均勤続年数	6.1	年	
●介護・看護職員平均年齢	41	歳	
●人材確保と育成の方針			
基本理念『愛の心・和の心・励む心』に基づいて 3S(CS:利用者の満足・ES:職員の満足・ES:経営者の満足) をバランスよく充足させ、もって総親和・総努力の体制を確立し ます。			
3 施設の方針・理念			
ご利用者さま、おひとりお一人の思いや願い、また好みを大切 にし、終の棲家としてやすらぎのある生活を送っていただけよう、 職員一同「和と努力」の精神で身の回りのお世話をしています。			
4 施設の特徴			
利用者の自立支援と主体性を尊重、社会性の維持を基本とする ケアプランを立案し、それに基づくケアを実施しています。			
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ			
朝・夕の食事時に近隣住民のボランティアの受け入れをしていま す。 教員免許の取得を希望する大学生の介護等体験、中学生のト ライヤやウィーク、近隣小学校の新任教員の研修等の受け入 れを行っています。			
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)			
月例行事等で地域のボランティアの受け入れを行っています。			
7 居室形態			
●種類	<input checked="" type="checkbox"/> 従来型	<input type="checkbox"/> 個室ユニット型	
●料金	居住費	320円	食費 1380円
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)			
毎月、誕生日を迎える利用者家族を招待し、行事にも参加して 頂いています。			

■サービス提供体制

入所条件
要介護3以上で家庭環境や経済環境に恵まれない緊急性の高 い方から優先入所して頂いています。
施設内自由度
居住部分ワンフロアで自由に移動できます。
居室の環境
2人部屋3人部屋4人部屋を配置しておりカーテン等の使用によ りプライバシーの配慮に努めています。
外出などの自由
家族等の付き添いにより外出することが可能です。また施設職 員の付き添いにより買い物等に外出も行って頂いています。
身体拘束・虐待防止対策
研修や委員会の活動を通じ身体拘束・虐待の防止に努めてい ます。 安全確保のため緊急やむを得ない場合においては所定の条件 をみだし一時的に身体拘束を行う場合があります。
食事
定期的に嗜好調査を実施して嗜好の変化を把握し食事形態も 利用者の状態や体調に合わせて給食委託業者と連携して献立 を調整しています。
入浴
各利用者の現存機能を把握し状態や体調に合わせた入浴を 行っています。
排泄ケア
各利用者の現存機能を把握し状態や体調に合わせた排泄ケア を行っています。
医療体制
隣接する協力病院と連携を密にし必要時には医師の往診や指 示を受けることができます。
ターミナルケアの実施
<input checked="" type="checkbox"/> 積極的に行う <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない
認知症ケア
認知症について理解し、寄り添い傾聴することの出来るケアを心 がけています。
アクティビティ
毎週1回 理学療法士による機能訓練。 毎週1回 レクリエーション(外出、手芸、運動、音楽等) 隔週で絵画を行っています。

特別養護老人ホーム 愛寿園

総合評価

- ◎ 施設は昭和 53 年に開設された古い建物ではあるが、入居者にとって生活しやすく増改築されている。有馬高原病院に隣接して建てられ、周りには民家がない環境である。商店や銀行がある町まで車で 10 分かかる位置にある。
- ◎ 不便な立地条件のなか、隣接する病院の売店をうまく活用して、入居者の買い物など個別の日常生活の支援を行っている。
- ◎ マニュアルや指針などしっかり定めているが、見直しや全職員への周知徹底がやや不十分だった。
- ◎ 全職員で構成されている委員会の役割や、職員 1 人 1 人の意見が施設長に届くダイレクトメールは施設運営に活かされている。入居者のきめ細かい要望や意向の情報収集源として職員に共有されて、より良いケアが提供できるように工夫している。
- ◎ 施設長はじめ中心となるメンバーの温厚な雰囲気反映しているのか、施設内にはゆったりとした空気が流れていて走りまわっている職員の姿は見られなかった。
- ◎ 人材育成の研修については 1 年目はしっかり行われているが、記録の確認ができないこともあった。また、研修後の評価、分析が実施されていなかった。
- ◎ 訪問調査時に資料の提示を求めた時、各部署の連携がスムーズで施設の一体感が窺えた。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ 職員全員が施設内に設置されている各種の委員会に所属していてそこで出された意見が施設運営に反映される仕組みができている。職員 1 人 1 人の意見を聞く仕組みとしては施設長にダイレクトメールを送信できる仕組みがあり、職員の業務に対する意欲をフォローアップする工夫がされている。
- ◎ 近隣に民家のない立地環境ながらボランティアの受け入れを積極的に行い、入居者の日常生活の社会性を向上させている。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ 公共の交通手段で施設を訪問する場合、バス停・降車後の案内板の改善が望まれる。
- ◎ 入居者が多くの人々と関わられるように配慮しているが、ボランティア受け入れの基本姿勢やマニュアルが明文化されていない。

外部評価結果に対する施設の見解

この度、当施設が神戸市老人福祉施設連盟第三者評価を受審し、訪問調査員から総合的な所見を頂きました。頂きました所見を当施設で検討を行った結果は以下の通りです。

指摘頂きました点への対応のみならず、人材育成、安定した経営、サービスの質の向上をめざし奮闘していくこととします。

施設名 特別養護老人ホーム 愛寿園

記入者 施設長

当施設の見解

概ね好意的な評価をしていただき、ありがとうございました。

結果は真摯に受け止め、改善を要するとされた点については全職員とともに検討し、必要な対策・対処を行ってまいります。